

令和2年度 第3回 甲賀市社会教育委員の会議録

令和2年(2020年)11月4日(水)
15時00分から17時00分
貴生川小学校

出席者

社会教育委員

姉川委員、沢井委員、西村委員、土田委員、宝本委員、坂上委員、上甲委員
井ノ口委員、岡村委員、山本委員、辻委員、石田委員
(欠席1名)

発表者

沢井委員(貴生川学区放課後教室運営委員代表)

事務局

社会教育スポーツ課 杉本課長、岡崎参事、森地社会教育指導員

傍聴者

なし

○ 市民憲章唱和

1. 開会あいさつ

姉川社会教育委員の会議委員長

2. 研修

研修テーマ

「学校と地域が連携した活動について」

— 貴生川小学校放課後教室(夕やけ教室) —

(1) 取り組みの経過

- ・ H26 校内に学力補充教室が創設される。
長休み、昼休みを活用した「そよ風教室」
校外に学習習慣づくりをねらいとした教室が開設される。
夏休み等を活用して各地区公民館で開催する「ひまわり教室」
- ・ H28 学力育成指導員が貴生川小学校に配置される。
- ・ H29 学校・地域連絡会議開催
夕やけ教室開設に向けて、退職教員への呼びかけ等により人材の
発掘
- ・ H30 「貴生川小学校区学校地域連絡協議会」発足
放課後教室運営委員会の設置
スタッフの募集→参加児童募集→第1回夕やけ教室

(2) 夕やけ教室の概要

運営 主催・・・貴生川小学校区放課後教室運営委員会

後援・・・自治振興会、教育後援会、民生委員児童委員、PTA

開催日時：毎週水曜日（15:00～16:45）
会 場：運動場新校舎(図書室)
対 象：小学校3・4年生（一定の条件をクリアした登録児童）
定員 40 名、本年度は 22 名
・年間通じて参加（登録制）
・児童クラブには参加していない
・17 時までに保護者の迎えができる。
スタッフ：保護者、学校支援ボランティア、民生委員児童委員
毎回 6 名前後を確保
必要経費：自治振興会や教育後援会からの支援
体験活動の講師謝礼、教材費など
内 容：学校での学習内容の復習、宿題が基本
ほかに、予習（調べ学習）、読書、地域学習（体験）、
ほか興味関心に添った学習

（3）教室の運営

○うまくいっている点

- ・施設が独立しており、使いやすく条件がよい。
- ・地域と学校、学校とボランティアとの連携が素晴らしい。
- ・通常、学校は関わっていないので、苦慮している点はない。学校は、連絡・調整業務のみ。
- ・スタッフの中にメインスタッフがおり、体験の企画などを担当している。
- ・地域で教室を開設するときの方法を教えている。
- ・子どもは教室に通うことを楽しみにしている。
- ・教室が、家庭の話題となっている。

（4）質疑応答（運営上の課題・問題点等）

① スタッフの確保

- ・民生委員児童委員、主任児童委員の活用、学校 OB で確保に努めている。
- ・自ら応募される方はほとんどない。個別の声かけが必要。
- ・ボランティアの数は少ない。

② 参加児童の選考

- ・参加者が多くなれば対応できない。3・4年生対象が今のところベスト。
- ・5・6年生は集団下校等のリーダーになるので、参加が難しい。
- ・1・2年生は、宿題の内容等の問題で本教室には不向き。

③ 事務局の設置

- ・文書事務をする専門の担当者が必要である。
- ・市派遣の「学力育成指導員」の配置や教員 OB のスタッフ加入が効いている。
- ・スタッフの出役調整は毎月実施。

④ 運営全般

- ・学校と地域市民センター・自治振興会との連携が必要。
- ・スタッフのやりがいにつながるようにしたい。
- ・地域学校協働本部とも連携していきたい。

⑤ 内容・予算の充実

- ・学習意欲を持続させる工夫が必要。開設日以外でも学習計画を立て、家庭学習の習慣化を図りたい。
- ・子どもたちの興味に合った体験学習の開発。
- ・自治振興会や教育後援会の支援要請。
- ・地域づくりへの効果も認められる。

⑤ 保護者の反応

- ・あずけておけばよい。
- ・少しでも勉強してくれればよい。
- ・学力は問題外。少しでも楽しい時間を過ごしてほしい。
- ・体験活動に協力的である。

⑥ 夏休みひまわり教室 各地区公民館等で実施

- ・近いので児童の送迎などの心配がなく安全であるので最善と考えられる。
- ・PTA 役員や民生委員等が学校教職員とともに指導にあたっている。
- ・子どもへの接し方に不安を持つボランティアも多い。
- ・掘り起こせば、ボランティアにあたる人はいる。
- ・中学生が小学生に教えるというシステムをつくりたい。
- ・宇川区では地域ボランティアの協力で毎土曜日に開催している。